

科目名	社会保障法Ⅱ				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	法学部	配当年次	2年次
教員名	高島 淳子			単位数	2単位

授業概要／Course outline

社会福祉とは、社会保険、公的扶助と並ぶ社会保障制度の一分野で、一定の生活上のハンディキャップを持つ人々に対するサービス給付が主な内容となります。ハンディキャップを持つ人々とは、例えば、高齢者、障害のある人、児童、母子家庭、低所得の人々のことで、こうした人々のニーズに即して必要なサービス給付が多数設けられています。また、公的扶助の具体的な制度として生活保護が設けられており、最低生活が保障されています。

この講義では、社会福祉の給付を担う行政の権限・責務、サービス利用者の権利、利用手続きを法的な観点から取り上げ、各分野の法の解説や法解釈論上の論点の検討を行います。また、生活保護法にまつわる法的問題もこの講義で扱います。これにより、社会福祉制度や生活保護制度に関する基本的知識、社会保障制度の中での社会福祉・生活保護の位置づけの理解、現代的な課題を理解することを目指します。

この授業は、対面授業の形式で行います。moodleで予習課題、講義資料、復習課題を配布し、授業中にmoodleのフォーラムに記入する機会を設けます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等）／moodleの活用）
- オンデマンド授業を3回行う予定です。
- moodleを通じて、予習課題、講義資料、復習課題を配布します。

授業内容・授業計画／Course description・plan

moodle上で、予習課題、講義資料、復習課題を配布します。

毎回の授業では、「2つの問い」を設定します。予習では、2つの問いのキーワードの抽出や解説を考えておき、授業中にその内容が正しかったか確認してください。

また、まとめの回には、受講者の中で希望する者のうち、最も優れた発表資料を作成した者に発表してもらいます。発表用資料の提出は任意ですが、期日までに発表用資料を提出した者は加点対象とします。発表テーマや資料提出の締め切り等の詳細は、授業中に説明します。

第1回 ガイダンス・「社会保障法」という法の世界

第2回 社会福祉の法体系と目的

第3回 社会福祉サービスの提供体制

第4回 障害者福祉の沿革と体系

第5回 障害者福祉におけるサービス

第6回 障害者福祉のまとめ

第7回 児童への福祉サービス

第8回 子ども・子育て支援法による給付、社会手当

第9回 児童福祉のまとめ

第10回 生活保護の基本理念

第11回 資産・能力の活用、扶養義務者による扶養

第12回 生活保護基準、生活保護の種類、生活保護の課題

第13回 生活保護のまとめ

第14回 社会福祉の将来

★オンデマンド1 障害者福祉の振り返り（30分）（第6回授業前後）

★オンデマンド2 児童福祉の振り返り（30分）（第9回授業前後）

★オンデマンド3 生活保護の振り返り（30分）（第13回授業前後）

※オンデマンド動画の配信時期は、確定し次第moodle上に掲示します。

事前・事後学修／Preparation and assignments

事前学習として、次の授業で扱う教科書の該当箇所を読んで、moodle上の予習課題に取り組んでください。また、次の講義で扱う「2つの問い」について、教科書を読みながらあらかじめキーワードや解説を考えておいてください。授業中にmoodleのフォーラムに、2つの問いの回答を書く機会を設けます。

事後学習としては、教科書と講義資料をもとに、moodle上の復習課題に取り組んでください。
また、まとめの回には、受講者の中で希望する者のうち、最も優れた発表資料を作成した者に発表してもらいます。

※授業時間外の学修（事前学修および事後学修）の目安時間は、各回ともそれぞれ90分程度、オンデマンド視聴はそれぞれ60分程度、合計で2700分程度です。

第1回 ガイダンス・「社会保障法」という法の世界

〔事前学習〕シラバスを読んで、授業内容や進め方を理解する。

〔事後学習〕配布されたレジュメを読んで、授業内容や進め方を再確認する。

第2回 社会福祉の法体系と目的

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、2つの問いについて考える。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、授業内容を振り返る。

第3回 社会福祉サービスの提供体制

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題①に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題①に取り組む。

第4回 障害者福祉の沿革と体系

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題②に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題②に取り組む。

第5回 障害者福祉におけるサービス

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題③に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題③に取り組む。

第6回 障害者福祉のまとめ

〔事前学習〕設定されたテーマについて発表用資料を作成し、提出する（任意）。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題④に取り組む。

第7回 児童への福祉サービス

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題④に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑤に取り組む。

第8回 子ども・子育て支援法による給付、社会手当

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題⑤に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑥に取り組む。

第9回 児童福祉のまとめ

〔事前学習〕設定されたテーマについて発表用資料を作成し、提出する（任意）。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑦に取り組む。

第10回 生活保護の基本理念

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題⑥に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑧に取り組む。

第11回 資産・能力の活用、扶養義務者による扶養

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題⑦に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑨に取り組む。

第12回 生活保護基準、生活保護の種類、生活保護の課題

〔事前学習〕教科書の該当ページを読んで、予習課題⑧に取り組む。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑩に取り組む。

第13回 生活保護のまとめ

〔事前学習〕設定されたテーマについて発表用資料を作成し、提出する（任意）。

〔事後学習〕教科書と講義資料を読んで、復習課題⑪に取り組む。

第14回 社会福祉の将来

[事前学習]教科書の該当ページを読んで、これまでの授業内容を振り返る。 [事後学習]これまでの教科書と講義資料を読んで、復習課題⑫に取り組む。	
授業の到達目標／Expected outcome	
日本の社会福祉制度・生活保護制度とその法に関する基本的な知識を習得し、社会福祉制度・生活保護制度について法解釈・立法論的な問題点について説明できるようになること。	
身につく資質・能力／Competencies to be attained	
・主体性	専門知識・専門技能 【法学部 法律学科】 ・法律学・政治学の基礎知識 【法学部 法政策学科】 ・法律学・政治学・政策学の基礎知識
履修上の注意／Special notes, cautions	
この授業は、対面授業の形態で行います。受講時には教科書を持参し、提示された2つの問いについて考えてください。講義では、時折受講者の皆さんの意見を聞きます。私語等、他人に迷惑をかける行為は厳禁です。 moodleを通じて、予習課題、講義資料、復習課題を配布します。 オフィスアワーでは、授業内容やまとめの発表資料について質問をすることができます。	
評価方法／Evaluation	
予習課題：16%（2点×8回）、復習課題：24%（2点×12回）、定期試験60%（60点） 予習・復習課題は1回に出題される問題に全問正解した場合のみ、1回あたり2点が加算されます（moodle上に1.8点など2点未満の点数が表示されたとしても、それは加算しません）。予習・復習課題の合計点数が24点（予習・復習課題の合計の60%）に満たない場合は、定期試験を受験したとしても評価しません。予習・復習課題の合計点数が24点以上の者のみ、定期試験の点数と合計して最終的な成績が付けられます。 まとめの発表資料を提出した場合には、最大10点加算します。なお、発表資料を提出した場合の点数は、上記の予習・復習課題の点数には加算しません。 詳細は、初回講義時の説明や初回講義で用いられるレジュメを参照してください。	
教 材／Text and materials	
教科書：菊池馨実編、稲森公嘉・高畠淳子・中益陽子『ブリッジブック社会保険法（第3版）』（信山社、2021年） 参考書：岩村正彦・水島郁子・笠木映里編『社会保険判例百選（第6版）』（有斐閣、2025年）	
質問や相談の方法／Instructor contact	
授業についての質問は、moodleに投稿するか、オフィスアワーを利用してください。	
その他／Others	
特にありません。	